

明治大学大学院  
国際日本学研究科  
(博士前期／後期課程)

文化・思想研究領域



# 文化・思想領域とは

日本のことを知るにしても、世界の他の地域のことを知るにしても、そこに生きる人々がどのような文化を持ち、どのようなことを考えてきたのかという視角は欠かせません。この領域では、過去から現在へと至る世界各地の文化や思想について、幅広い視点から研究していくことを目指します。文献資料や有形・無形の文化財を知的資源として活用していくための調査・分析技術を習得し、さらに、その外側と内側に広がっている文化や思想にアプローチしていきます。



# 専任教員

※教員詳細は写真をクリック

教員（専門分野）		博士前期	博士後期
准教授	鵜戸 聡 （フランス語圏アラブ＝ ベルベル文学研究）		○
教授	小谷 瑛輔 （日本近現代文学）		○
教授	長尾 進 （身体教育学－武道論）		○
教授	美濃部 仁 （哲学、特に宗教哲学）		○

# 過年度の修士論文テーマ (博士前期課程)

- ▶ ロールズ『正義論』における反照的均衡と道徳的直観の意義
- ▶ ロック・ミュージックにおける畸形性
- ▶ エマニュエル・レヴィナスにおける感受性と意味作用
  - 「発話と沈黙」から『全体性と無限』へ—
- ▶ 「空・転」する知
  - 西谷啓治『宗教とは何か』をめぐって—
- ▶ 滝沢克己と久松真一
- ▶ ニヒリズムは超克できるのか
  - 西谷啓治のニーチェ理解—



# 過年度の修士論文テーマ (博士前期課程)

- ▶ <オーストリア・ミュージカル>、その形成と確立
  - 『フロイディアーナ』から『エリーザベト』へ
- ▶ 武術・武術における「小太刀」に関する研究
  - 日本剣道形への「小太刀の形」採用の背景を探る
- ▶ 坂口安吾「桜の森の満開の下」論
  - 「文学のふるさと」のテーマの戦後
- ▶ 向田邦子の自伝的エッセイと虚構性
  - 『映画ストーリー』編集者時代について
- ▶ インダストリアルデザインと自己イメージ
  - ドン・ノーマンの「三つのレベル」を手がかりに



# 過年度の博士論文テーマ (博士後期課程)

- ▶ Wiener Musicals and their Developments:  
Glocalization History of Musicals between Vienna and Japan  
〈ウィーナー・ミュージカル〉の諸展開  
ーウィーンと日本におけるミュージカルのグローカリゼーション史ー
- ▶ 西谷啓治の「空」の立場における自己の主体性

